

瀬上市民の森環境改善整備工事、かいぼりの結果

瀬上池では、昭和初期まで農業用のため池として定期的な池の水抜き、かいぼりが行われ、堆積する土砂の量が抑えられていました。しかし、農業への利用がなくなり、水抜きなどの管理がされなくなったことから、池に土砂が堆積し、水質や生物の生息環境の悪化などが問題になっていました。

瀬上池の豊かな自然環境を再び取り戻すため、横浜市では自然環境及び生物多様性に配慮した整備・維持管理を推進することとしています。

そこで、平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月にかけて、池の泥を運び出す浚渫と上流の流れからの土砂の流入を抑える沈砂池を整備する環境改善整備工事を行い、当初計画した浚渫土量の約 6 割である 1,400m³の堆積土を除去しました。さらに、オオクチバス等の外来種駆除を目的としたかいぼりも合わせて実施しました。その後、平成 27 年度の工事で取り切れなかった池の泥を除去するために、平成 29 年度にも同様の工事を実施し、計 2 回の浚渫工事によって、約 2,400m³の池の泥を除去しました。

工事の様子

■平成 27 年度

①小型ポンプ式浚渫

池にいかだを浮かべて泥をポンプで吸い出し、池の下広場に設置したプラントで水と土を分離しました。



いかだ



作業の様子

②強力吸引車浚渫

池の水を抜き、外来生物の捕獲等のかいぼり作業を行った後、強力吸引車による浚渫作業を行いました。



強力吸引車



プラント

③沈砂池の整備

池の上流部に土砂の流入を抑えるための沈砂池を整備しました。

池に近い箇所には、比較的大きめの沈砂池を2つ、さらに上流部には畔の設置による小規模な沈砂池を整備しました。



池に近い沈砂池



さらに上流部の沈砂池

■平成 29 年度

①小型ポンプ式浚渫

平成 27 年度と同様、池にいかだを浮かべて泥をポンプで吸い出し、浚渫した池の泥については、処分にかかる費用を抑えるため、土壌改良剤の原料として活用しました。



作業の様子



浚渫した池の泥

かいぼりの様子

①実施概要

◆日時：平成 27 年 12 月 12 日（土）9:50～14:00（一般見学会は9：50～12：00）

◆参加者：**80名**（瀬上市民の森愛護会・瀬上さとやまもりの会 42名、市関係者 38名）

見学者：**174名**



見学会場入り口付近には行列が



水生生物展示会場の様子

②作業の様子

池内の水生生物の捕獲・運搬・同定・計測を行いました。在来種（クサガメ、ドブ貝、モツゴ、ギンブナ、水生昆虫類等）は保護し、外来種（ウシガエル、ミシシippアカミミガメ、オオクチバス、アメリカザリガニ、コイ、草魚）については駆除を行いました。



捕獲の様子、大物が捕まると見学者からも歓声が

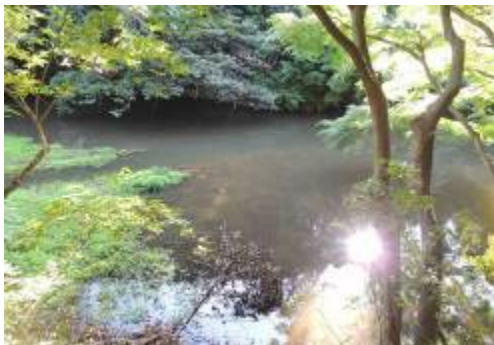


草魚（ソウギョ）



生物種の同定の様子

工事後の様子



平成 28 年 5 月の瀬上池



平成 28 年 6 月の沈砂池



平成 30 年 3 月の瀬上池



平成 29 年 8 月の沈砂池

お問い合わせ先

かいぼりに関すること

横浜市環境創造局政策課

TEL 045-671-2484

工事に関すること

横浜市環境創造局公園緑地整備課

TEL 045-671-2653

（お問い合わせは平日 8：45～17：15 にお願いします）